

水泳・日本選手権 女子50m平泳ぎ

笹木が4位入賞



4月11日から14日まで、日本選手権水泳競技大会(長水路)が新潟県長岡市・ダイエープロビンスフェニックスプールで行われた。この大会は世界水泳選手権大会、ユニバーシアード大会の代表選考会も兼ねている。専大では笹木愛恵(文3・湘南工科大附高)が女子50m平泳ぎで4位(32秒27)に入賞した。笹木は「50mは選考種目に入っていないが、表彰台に上がることが、表彰台に上がることが目標にしていたので、少し残念」と悔しさをにじませた。しかし、1位の鈴木聡美さん(ロンドンオリンピック同200

4月11日から14日まで、日本選手権水泳競技大会(長水路)が新潟県長岡市・ダイエープロビンスフェニックスプールで行われた。この大会は世界水泳選手権大会、ユニバーシアード大会の代表選考会も兼ねている。専大では笹木愛恵(文3・湘南工科大附高)が女子50m平泳ぎで4位(32秒27)に入賞した。笹木は「50mは選考種目に入っていないが、表彰台に上がることが、表彰台に上がることが目標にしていたので、少し残念」と悔しさをにじませた。しかし、1位の鈴木聡美さん(ロンドンオリンピック同200

馬術・東都学生大会

団体2競技で優勝

個人複合では見目も

4月12日から14日まで、JRA馬事公苑で東都学生馬術大会が開催された。複合馬術競技と標準飛越競技の団体で優勝し、団体総合で準優勝を果たした。

見目は「前大会(東京八大学純馬術)はプレッシャーに戸惑ったが、今回はうまく調整し、人馬一体になり、互いに苦手な部分をカバーできた。総減点数はとも少なく、満足している」と語った。



華麗な騎乗を見せた見目 (写真提供：佐々木重人部長)

また、団体については、今大会をきっかけに、エン

ドローロ号と共にチームを引っ張っていた立場になりたい」と抱負を話した。

同会場で12日に行われた東都学生トーナメントでも団体で準優勝、優秀選手に見目を選ばれた。(大嶋 輝・文3)

F・マリノスの特別指定選手に

サッカー部の長澤和輝(経営4・八千代高)が3月に横浜F・マリノスの特別指定選手に認定された。4月3日、ヤマザキビスコカ

サッカー部の長澤和輝(経営4・八千代高)が3月に横浜F・マリノスの特別指定選手に認定された。4月3日、ヤマザキビスコカ



寺島、塩原 上位入賞

スキー・全日本アルペン春季大会

全日本学生アルペンスプリング大会が4月2日から5日まで、長野県の志賀高原スキー場で行われた。男子回転第1戦で寺島勢奈(法3・小海高

首位を独走

4月6日に開幕した関東大学リーグでは長澤主将と仲川輝人(商3・日体原高)の6得点を筆頭に、前澤甲(経営3・清水商高)が続き、上位を占める。(鈴木 詩織・文3)



入賞している寺島は「練習でやってきたことを発揮できれば良い結果が出せると思っていた」と話し、塩原は「前回の大会では調整できなかったが、ペース配分に気を配ったので良いレース展開となった。これからは体力の向上と精神面の強化に力を注ぎたい」と手応えをつかみ、シーズンを締めくくった。

また女子は高谷陽子(文3・白馬高)が大回



チームを引っ張った平井・山田主将(右)

1ト勝ち。平井重紀(商4・高松商高)・山田真央主将(文4・埼玉栄高)組も白星をあげ、2-3で敗れたが、奪取したセットが順位に良い影響をもたらした。

山田主将は「昨年のリーグ戦と変わらないメンバーだったが、昨年よりも他のチームとの差がなくなってきた」と話し、チームの力が高まったことを感じさせた。また、野尻憲介監督も「実力に大差はない。もっと分析をして秋には優勝したい。今年はチームの層が厚くなったので、それによってチームの力がさらに高まれば」と期待を寄せた。(小川)写真も)

レスリング・JOC杯Jrオリンピックピックカップ

中村がV 魚住は準V

4月27、28日の両日、横浜文化体育館でレスリングのJOC杯ジュニア

中村は決勝までの4試合中3試合をテクニカルフォールで突破。決勝は第1ピリオドを取られるが、1-0で第2ピリオドを取り返す。第3ピリオドは自分のレスリングを展開し、6-0のテク

ニカルフォールで勝利した。「体調が良く、試合をしていくにつれ、優勝できると感じた」と話した。

この結果、世界ジュニア選手権(ブルガリア・ソフィア)の出場権を獲得。「一昨年は銅メダルだったので、今度こそ金メダルを取りたい」と抱負を語った。

魚住は準々決勝をフォールで勝ち抜くと、準決勝は1ポイントも奪われず決勝に進出。決勝戦は惜しくも0-1、0-2



世界ジュニアでも活躍が期待される中村 (撮影：小川)

専大スポーツ

No.326

大会結果 予定は体育会ホームページ 専大ホームページ スポーツからアクセスで確認ください
専大ホームページ 編集部 web(http://sensupo.web.fc2.com/) でも大会結果を配信しています

バドミントン・関東学生春季リーグ

期待抱かせる 3位

4月27日から5月5日まで、関東学生バドミントン春季リーグ戦(女子)が日体大健志台キャンパス米本記念体育館で行われ、専大は3勝2敗で3位となった。

明大、早大に連勝し、第3戦で今季優勝の法大と対戦。猛追を見せ、5ゲーム中3ゲームがフルセットにもつれ込んだが、2-3で敗れた。続く日体大戦も接戦を繰り広げ3-2で勝利し、良い流れで最終日の筑波大戦へ。苦しい流れとなったが、篠田未来(文3・富岡高)・浦谷夏末(商3・尚志高)組がスト

国際大会 出場選手

◇バスケットボール部 宇都 直輝(経営2・中部大第一高) 第36回季相杯杯日韓学生競技大会(5月14・20日)福岡市

◇フェンシング部 川村 理紗(商2・揖斐高) ワールドカップ・フランス大会(5月19・27日)フランス・マルセイユ ※フルレ